

平成22年 6月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成22年6月30日（水）午後4時00分～午後4時46分

2 場 所 市役所6階 602会議室

3 出席者 [委員] 富田常世委員長、古敷谷千賀子委員長職務代理者、清水三和子委員、守谷靖委員、佐藤徳一教育長

[事務局] 山寄裕司教育総務部長、内野正行学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、平塚俊夫学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、金子美也子生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、北健志教育総務課長、関口恭一スポーツ振興課長、鈴木正行文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齊藤仁教育センター所長、川音孝夫学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長

[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は、第5号から第7号までの3件。

7 議 題

議案第5号 所沢市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について

資料に則り、則武社会教育担当参事兼社会教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(清水委員)

公民館運営審議会はかつて各公民館単位で組織されていたが、今は一つになっている。そこでの意見はどのように反映されているのか。

(則武社会教育担当参事)

15名の委員のうち各地区から推薦された方が11名いらっしゃいます。その方々が、かつて各地区にあった公民館運営審議会の代表ということで、その方々を通じて各地区の意見を反映させているということになります。現在、各公民館には公民館運営審議会に代わって、企画運営委員会が組織されています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第6号 所沢市スポーツ振興審議会委員の任命について

資料に則り、関口スポーツ振興課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

区分の2号委員とは何か。

(関口スポーツ振興課長)

行政関係者ですが、現在は任命されていません。

(富田委員長)

任命されている委員の年齢層は。

(関口スポーツ振興課長)

40歳台から70歳台です。

(富田委員長)

各団体からの推薦ということでやむを得ないのだろうが、若年層の意見が反映されにくいような印象を持った。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第7号 所沢市立学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について
資料に則り、中村保健給食担当参事兼保健給食課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

給食センターを使っている学校は、どのくらいあるのか。

(中村保健給食担当参事)

小学校は32校のうち17校が給食センターで、15校が自校給食です。

中学校は15校すべてが給食センターです。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

●平成23年度所沢市立幼稚園園児募集について

資料に則り、平塚学校教育課次長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

これについては、昨年度も募集するか否かの審議があったと思うが、今回のこととは違うのか。

(平塚学校教育課次長)

本日、来年度の園児募集についてご協議いただき、来月の教育委員会会議に議案として提出させていただきます。その後、条例改正等の議案をご審議いただき、議会へ提出することになります。

(清水委員)

所沢幼稚園については今年度園児募集しないということで、来年度も同様の方向になることが推測されたが、所沢第二幼稚園のほうは、しばらくの間このままということになっていたと思う。このような宙ぶらりのまま所沢第二幼稚園を続けていって良いのだろうか。所沢第二幼稚園がこのまま残るといって確実な保障がないまま、園児の在園中に所沢幼稚園のように規模縮小していくことが懸念される。所沢第二幼稚園についても、今後の道

筋をあらかじめ考えていったほうが良いのではないかと。

(古敷谷委員長職務代理者)

今年度も70名募集したが実際には31名しか入園がなかったことや、耐震の問題でそう長くは続けられないことも考えると、進展はないという気がする。

(山寄教育総務部長)

将来的な園児数の把握は難しいと思いますが、その推移を見守りながら、今年度予算のなかで、学校の耐震化と同様の考え方で、在園児の安全を第一に考え、所沢第二幼稚園についてはプレハブの園舎を5年契約でリースしたところです。今後の入園状況によって、次の段階として然るべき措置を講じていきたいと考えています。

(平塚学校教育部長)

幼稚園運営協議会の答申3項目を受けて、今年度、所沢第二幼稚園につきましては、70名の募集をかけたところ31名の入園しかなく、入園率は17%でした。来年度の入園児数は未定ですが、その状況を見ながら関係各課と協議し、粛々と進めていきたいと考えています。

(富田委員長)

市立幼稚園運営協議会の答申を受け、方向性は変わらないが、来年度の募集についてどうするのか、ということなのか。

(内野学校教育部長)

昨年、所沢幼稚園の園児募集の停止を取り止めるよう請願が出されましたが、議会においても募集停止はやむを得ないということで、募集停止をお認めいただいたことから、来年度もこれに添ったかたちで進めていきたいということです。また、所沢第二幼稚園については、今までどおりに募集をし、その募集の動向と、プレハブ園舎のリースとの兼ね合いを見ながら、今後のタイムスケジュールを考えていきたいと思っています。

(守谷委員)

市立幼稚園運営協議会の答申を受けて、所沢幼稚園については、昨年と同様の考え方で良いと思う。所沢第二幼稚園については、今年度70名の募集に対して31名の入園しかなかったことを考えると、来年度も同じような結果になるのではないかと推測されるが、1学級35名の募集にするとという選択肢も考えられなくはないように思う。

(内野学校教育部長)

今まで70名という定員でやってきたことや、リースしたプレハブ園舎も合計3学級まで対応可能なことを考え、事務局としては来年度も70名の募集ということで提案させていただいたものです。

(平塚学校教育部長)

配布資料にもありますように、今年度よりも来年度のほうが入園候補となる園児数が多くなっていることから、前年同様に70名の募集で提案させていただいたものです。

(古敷谷委員長職務代理者)

所沢幼稚園の廃園の話が出た際に、唐突だという意見がかなりあったと思う。プレハブ園舎のリース期間が5年間なので、それ以降は難しいということをお早めに周知しておくのが親切なのか。予算が許せば存続もあり得るということだったが、その可能性はいかかなものか。実際にプレハブ園舎は3学級分しかないから、今回は70名募集するとしても次年度は35名にするしかない。仮に予算が許したとしても、根本にあるのは市立幼稚園は廃園したほうがいいのかというのが、私たちの意見だと思う。

(内野学校教育部長)

条例改正の議案を提出する際にご審議いただくことになると思いますが、少なくとも廃園の2年前には地域に周知しようと考えています。具体的な時期については、今後の入園状況やプレハブ園舎のリース期間を勘案しながら検討していきたいと思っています。

(冨田委員長)

基本方針を守りつつ、5年のリース期間の範囲内で今後進めていくということですね。

この件については、委員の皆様からご意見をいただき、十分ご協議いただけたと思います。

(平塚学校教育部次長)

ただいまのご協議の内容をもとに、来月の教育委員会会議において、園児募集について、及び所沢幼稚園の廃園の件について、議案としてご審議いただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

9 報告事項

- 教育委員会の事務事業に関する点検評価について（教育総務課）
- 社会教育委員会議の答申について（社会教育課）
- 所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」平成22年度新規開設校について（学校教育課）
- 柳瀬中学校の生徒による人命救助について（学校教育課）

10 その他

- ・教育委員会7月定例会：7月23日（金）午後1時～ 教育センター
- ・教育委員会8月定例会：8月27日（金）午後2時～ 602会議室

11 閉会 午後4時46分